



2023年1月16日

各位

会社名 株式会社メディアドゥ  
代表者名 代表取締役社長 CEO 藤田 恭嗣  
(コード：3678、東証プライム)  
問合せ先 取締役 CSO 兼 CFO 荻田 明史  
(TEL. 03-6212-5113)

## 通期業績予想の上方修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年4月14日に公表した2023年2月期(2022年3月1日～2023年2月28日)の通期業績予想について上方修正することとしましたので、お知らせいたします。併せて、当社は2023年2月期第3四半期において特別損失を計上いたしますので、下記のとおりその概要をお知らせいたします。

### 記

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正(2022年3月1日～2023年2月28日)

##### (1) 修正の内容

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想(A)	100,000	2,000	1,870	850	53円56銭
今回修正予想(B)	101,000	2,250	2,100	900	58円19銭
増減額(B-A)	1,000	250	230	50	—
増減率(%)	1.0%	12.5%	12.3%	5.9%	—
(参考)前期連結実績 (2022年2月期)	104,722	2,811	2,783	1,576	99円75銭

※上記業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

##### (2) 修正の理由

当第3四半期連結累計期間における当社連結業績は、電子書籍市場の拡大基調に加えて、主要取引先の商流変更の遅延に伴い売上の減少が当初見込みよりも緩やかになったことなどから、売上高・営業利益とも堅調に推移しております。一方で、下記に記載のとおり、戦略投資事業における「GREET」のサービス終了に伴うソフトウェアの減損処理に加えて、当社の連結子会社である株式会社Nagisa(以下、「Nagisa」)に関するのれんの減損処理に伴う特別損失を当第3四半期連結累計期間において計上いたします。ただし、第4四半期連結会計期間において当社が保有するNagisa株式を譲渡することにより法人税等が減少する見込みです。これらを踏

まえ、投資者の投資判断に有用な状況を積極的に開示する観点から、2022年4月14日公表の2023年2月期通期連結業績予想につきまして、新たに予想値を算出し、公表するものであります。

## 2. 特別損失の計上

当社は、2023年2月期第3四半期連結累計期間において、当社の連結子会社であるNagisaに係るのれんの減損損失287百万円、戦略投資事業における「GREET」のサービス終了に伴うソフトウェアの減損損失171百万円を計上いたします。

当社は有力電子書店「ゼロコミ」を運営するとともに高いアプリ開発力を有するNagisaを2020年10月に子会社化いたしました。マンガアプリ事業を継続する一方で、ノーコードでファンクラブやサブスクリプションサービスを作ることができるサービス「FAM」を新たな事業として立ち上げ、経営資源をシフトしましたが、当社グループにおける事業ポートフォリオ等を総合的に勘案した結果、当社が保有する株式の全部をNagisa代表取締役社長の横山佳幸氏に譲渡し、同氏の下で今後の成長を目指していくことが適当との判断に至ったため、本日開催の取締役会において、横山佳幸氏にNagisa株式の全部を譲渡することを決議し、本日、株式譲渡契約を締結いたしました。また、本株式譲渡契約の締結を踏まえ、当第3四半期連結累計期間においてのれんの減損処理による特別損失を計上いたします。さらに、本株式譲渡及びこれに併せて実行するNagisaに対する貸付金の債権放棄に伴い、2023年2月期の個別財務諸表において関係会社株式売却損88百万円、関係会社債権放棄損420百万円を特別損失として計上する見込みですが、当該債権放棄損は連結財務諸表においては相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。なお、当社は、引き続きNagisaの「FAM」事業を支援することを目的として、Nagisaが新たに発行する新株予約権を引き受ける予定です。

また、当社は新たなデジタルコンテンツの可能性を模索し、2018年からブロックチェーン技術を活用した新たな事業の研究開発に努めておりますが、その中で、2021年12月にはミュージックビデオ、ライブ映像、ショートフィルム、ライフスタイル番組などあらゆるジャンルの公式映像を、オンライン上映会で誰とでも一緒に鑑賞できるソーシャル映像視聴アプリ「GREET」をリリースすることに成功いたしました。一方で、当社が2022年4月に公表した5カ年の中期経営計画の達成、ならびにデジタルコンテンツアセット®(DCA)の実現のためには、当社が開発したNFTマーケットプレイス「FanTop」に経営リソースを集中することが適切であるものと判断し、「GREET」は2022年12月にサービスを終了いたしました。これを受け、当第3四半期連結累計期間においてソフトウェアの減損処理による特別損失を計上いたします。

以 上